

循環器内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	心アミロイドーシスに特徴的な心エコー図検査所見の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	循環器内科
研究責任者	(職名) 准教授 (特任) (氏名) 中野雄介
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	名古屋市立大学 循環器内科学 教授 大手信之
研究の意義・目的	心アミロイドーシスに特徴的な心エコー図検査所見を解明することを目的としています。
対象となる患者さん	2000年4月から2020年3月までに心アミロイドーシスと診断された患者さん
研究の方法	心臓組織診断(カテーテルによる心筋生検・組織検査)あるいは理学所見・採血検査所見などによる臨床診断にて心アミロイドーシスの診断に至った対象患者さんの心エコー図検査結果を再度確認し、心エコー図検査所見を抽出します。また、対象患者さんの心エコー図検査を行った時点での情報(年齢・性別・身長・体重・体表面積・血圧・脈拍・調律・心不全発症からの期間・合併疾患等)とアミロイドーシスに関係した症状や身体所見、採血検査結果、尿検査結果の情報も抽出します。収集した情報を整理し、アミロイドーシス患者さんにおいて指摘頻度の高い心エコー図検査所見と、その検査所見に関連が認められる患者さん情報・アミロイドーシスに関連する主要症状や主要所見に関する情報を検討します。最後に、対象患者さん全体をトランスサイレチン型心アミロイドーシス群と非トランスサイレチン型心アミロイドーシス群に分け、指摘頻度の高い心エコー図検査所見を比較することで、トランスサイレチン型心アミロイドーシスを診断する上で有用な心エコー図検査所見を明らかにします。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2025年5月17日
研究に用いる試料・情報	情報: 心エコー図、診療情報など。
外部への試料・情報	名古屋市立大学大学院 循環器内科学に郵送します。

の提供	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 循環器内科 担当者：(職名) 医員助教 (氏名) 鈴木 航 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23490)